

Organization for Diversity Management

ダイバーシティ推進本部

企画・総務担当理事を推進本部長とし、2009年1月に設置されたダイバーシティ推進本部。「性別・国籍・年齢・障害の有無に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努める」というダイバーシティポリシーの基、男女共同参画室、次世代育成支援室、障害者雇用推進室、高齢者雇用安定室（設置当初は外国人雇用推進室を含む5室）の4室を中心に、全ての職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を目指している。

●男女共同参画室

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/index.html>

集え！女性研究者。男女共同参画室では、次世代を見据え、男女ともに大いなる資質と能力が持続的に飛躍向上し、開花する環境整備を目指し、取り組みを進めている。



●雇用の確保

公募した若手女性研究者を3年任期で採用する「ウーマン・テニユア・トラック（WTT）」教員制度は2009年度にスタート。年3〜4人ずつ、計11人を採用（12年度内定者含む）した。WTT教員は特任助教としての活動のかわら、学生・院生の教育にも携わる。WTT教員対象の各種スキル・アップセミナーも開かれ、大学の研究者・教育者としてのノウハウも修得する。11年から新規にスタートした文科省科学技術人材育成費補助金「アニエアトラック普及・定着事業」にWTT制度が選定された。この事業による研究資金の支援で自立した研究環境が一層整備された。任期中の実績により、常勤教員としての道も開かれている。

一方、女性教員の出産・育児・介護などと研究の両立を支援するための制度整備も進んでいる。研究支援員の配置が行われ、延べ40人が活用。12年度からは男女を問わず利用できる。研究支援員の情報を収集し、教員に紹介する人材登録

バンクも設置。情報はデータベース化され、男女共同参画室でマッチングを行っている。

●気軽に相談

女性の悩みに応じる相談室を津島地区では火・金曜日の午前10時〜午後4時、環境理工学部2階のキャリアサポート室分室で、鹿田地区では月曜日の午前10時〜午後4時、医学部記念会館3階で開設。女性臨床心理士が、キャリア確立や結婚・子育てなどのライフプラン、日常の悩みなどに応じる。メール（support@adm.okayama-u.ac.jp）での相談も可能。2カ月に1回程度開く「キャリア・カフェ」には女性教職員や院生らが参加。ランチタイムなどを活用し、日ごろの悩みを気軽に話し合える場として定着した。



●リケジョを応援
理系分野への理解を深めてもらうと、WTT教員と院生が最先端の研究を分かりやすく解説する「おokayama-u.ac.jp」は次世代を担う中・高生を対象に、現地校に出向き年5回程度開催。フリートキングの時間も設け、将来や人生設計について自由に話し合う。オープンキャンパスでは、理系の学部生・院生がフリー・デイスカッション形式で高校生と接し、その魅力を伝えている。講義でも男女共同参画の視点に立ったキャリア教育を目的に、本年度から教養教育科目を開講。来年度は「プロフェッショナルを目指すあなたへ…男女共同参画社会のライフ・デザイン」と講義名を改め、オムニバス形式で開講する。

●次世代育成支援室

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/jisedai/index.html>



子育て応援します。次世代育成支援室では、仕事と家庭の両立を支援する。岡山大学は2010年度に次世代認定マーク「くろみん」を取得、本年度は「おokayama-u.ac.jp」の中で独自性、先進性のある取り組み内容で、優れた成果があったとして岡山県知事から表彰を受けた。

も、明るく素直な子ども、挨拶ができる子ども、頑張る子ども、感謝のできる子どももの五つを掲げる。



09年10月には岡山大学病院内に「ますかつと病児保育ルーム」を開設。専任の小児科看護師と保育士が常駐し、生後6カ月から小学6年の病中・病後（小児科医が指定する感染症を除く）の子どもを4人まで預かることができる。



長期休業中（春、夏、冬休み）には学童保育施設「かいのき児童クラブ」（津島地区）を開設し、学内関係者の小学生を預かる。定員は60人で、地域の子どもも一部受け入れている。保育時間は午前7時半〜午後7時まで。竜ノ口登山、皆既日食観望会、サマーコンサート、実験教室、もちつきなど季節に合わせたイベントも企画し、子どもたちに好評だ。

●イクメンしてませんか？

本年度から男性教職員のワークライフバランス向上を目指し、「育Men's Club」と銘打った活動をスタート。男性教職員が利用できる支援制度を紹介し、仕事・子育ての両立について情報交換する場を提供する。厚労省の「イクメンサポーター」に登録し、育児休業取得を促進するための活動を行う。

男性教職員が子育て秘話を紹介する冊子「岡大パパの育児エッセイ集」(http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/jisedai/papa_kosodate/)も発行。育児経験がある本学の男性職員による「育休パパのすすめ」や「津島パパの生き生き育児」などを紹介する。

●障害者雇用推進室

【グッドジョブ支援センター】

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/handicap/index.html>

障害者雇用推進室は2009年4月、障がい者の法定雇用率を達成する施策の一環として「グッドジョブ支援センター」を設置。障がいのある職員が支援員のサポートのもと、事務、軽作業など多様な業務に当たっている。11年3月にはバリアフリー設計の専用作業室を整備し、よりよい職場環境で働きがいを持って業務に取り組む体制を整えた。

いを持つ職員34人がグループに分かれ業務を行う。保健管理センターや岡山障害者職業センターなども連携し、職員のカウンセリングや研修会を実施するなど、働きやすい環境整備に努めている。

●業務の依頼を受け付け

グッドジョブ支援センターは、各部署からの業務の依頼を受け付けている (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/handicap/request.html>)。同推進室は、今後もこれまで学外へ外注していた業務や職員が行っている業務の中で同支援センターへの移行が可能な業務を検討し、職域の開発に取り組んでいく。

●学内保育施設



教職員や研究生、院生らの子どもを預かる乳幼児保育施設「なかよし園」（鹿田地区）を設置。収容定員は70人で、0歳児から5歳児までを四つのクラスに分けている。保育目標は、仲良く元気な子ども

る。定員は60人で、地域の子どもも一部受け入れている。保育時間は午前7時半〜午後7時まで。竜ノ口登山、皆既日食観望会、サマーコンサート、実験教室、もちつきなど季節に合わせたイベントも企画し、子どもたちに好評だ。

●多彩な業務

グッドジョブ支援センターの業務は主に四つ。図書の整理、シユレッター、会議資料セットなどの事務作業▽本部棟や津島地区の草刈り、落葉集め、清掃などの軽作業▽津島地区構内と鹿田地区の文書集配業務▽農学部附属農場での畑作業・出荷準備など。現在、支援員10人と障が

